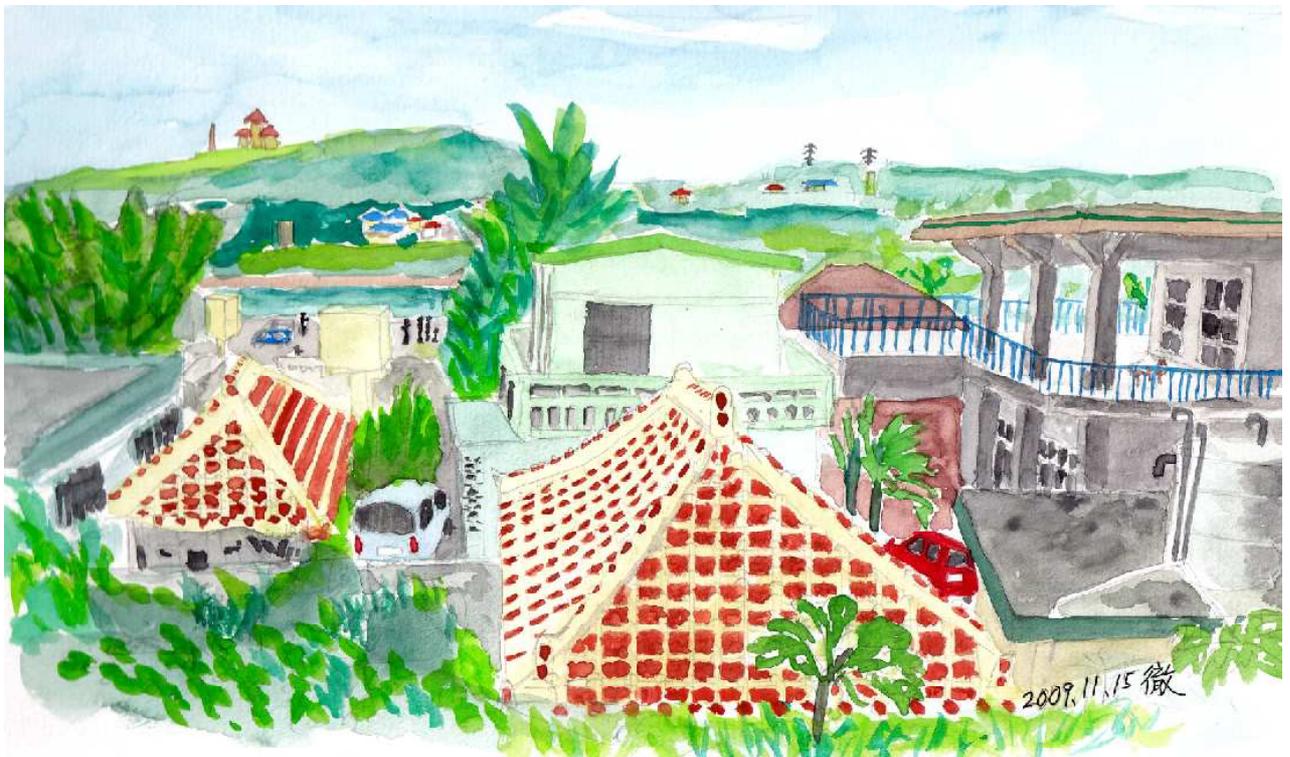


ここ二、三日の寒波は厳しかったですね。でもスキー場の雪は未だとか……。熟年スキーヤーとしては気になります。

さて、予算の事業仕分けをどう思いますか？民主の蓮舫議員がスパコン開発費の仕分けで「どうして二位じゃいけないんですか？」と云って、結局、全て削った話にはびっくりしました。確かに、トップでなければいけないか？と云われると、国際政治の世界では日本は「アメリカの言い分を聞けば日本の云うことは分かるから」と、どこの国にも相手にされない。正にアメリカの従属国扱い。そのセンスから云えば、トップを目指し親分の機嫌を損なうことはないということなのではないでしょうか。スパコンを巡っては、これまで富士通とNECの二社が関わってきたのが一社が会社の業績上の理由で降りています。降りた方にしてみれば、スパコンプロジェクトそのものが無くなった方が安心かも知れません。それにしても、蓮舫氏はじゃどうして一位を目指す必要が無くて二位で良いのか？又、二位を取り維持する為にはどうすれば良いのか示す必要があると思います。

2009.12.17 山下 徹



この絵は沖縄本島の南端近く太平洋側の南城市の奥武(おうむ)島で描いた絵です。

沖縄の伝統的な家はこの屋根は赤い瓦を白い漆喰で固めてあります。とても美しいと思い、それを描きたくて、島の路地を歩き回りました。

そうしたら、遠景に「平和祈念公園」が見えました。遠景の三つの三角屋根がそれです。この平和祈念公園には平和の礎(いしじ)があります。それには、沖縄戦で亡くなった住民、軍人すべての氏名が記してあります。ある集落の碑では一家族全員の名前がありました。ある沖縄出身の兵隊は、部隊の最期が近い時に、上官から「家に戻れ」と云われ、家族全員に自決を強要し結局次々に殺したが、ある妹は死ぬのは嫌だと逃げ……。結局本人も死ねなかったそうです。その事をずっと負い目に感じながら暮らしていたそうです。何という悲劇でしょうか？戦時国際法で占領されても住民の生命と財産は保護される権利があることをちゃんと教えていれば、こんな悲劇はなかったのに……。と思います。

沖縄では、右の鉄筋コンクリートの家のように広い屋根のあるテラスのある家が沢山あります。沖縄では、しょっちゅうわか雨が降るので、こういうスペースが必要なのだそうです。